

平成29年度

# 全国学力・学習状況調査結果



## 平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果

1 実施期日 平成29年4月18日（火）

### 2 実施概要

- 対象学年 小学校第6学年，中学校第3学年
- 対象教科 国語，算数・数学
- 調査内容 「主として『知識』に関する問題(A)」と「主として『活用』に関する問題(B)」を出題。併せて「生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査」を実施。

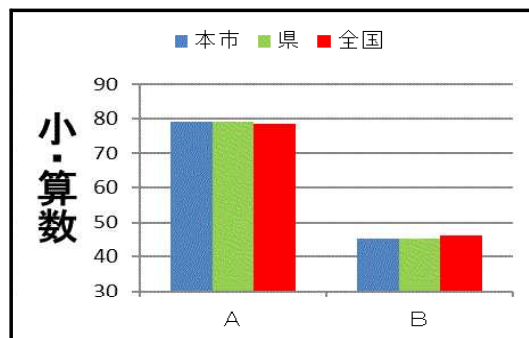
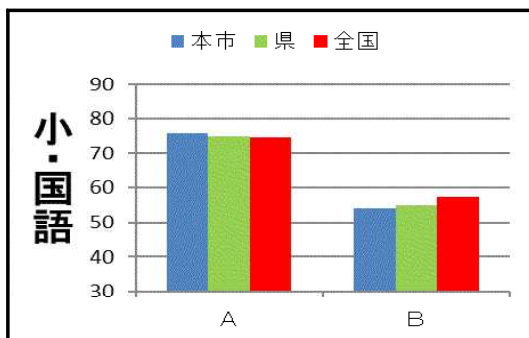
### 3 学力調査の結果概要

(平成29年度に公表されているのは、県と市は整数値，全国のみ小数点以下も公表。)

#### (1) 小学校正答率

- ・ 国語A・B，算数A・Bともに県と同程度であるが，全国と比較すると，国語Bが2ポイント以上下回っており，依然，課題が継続しています。

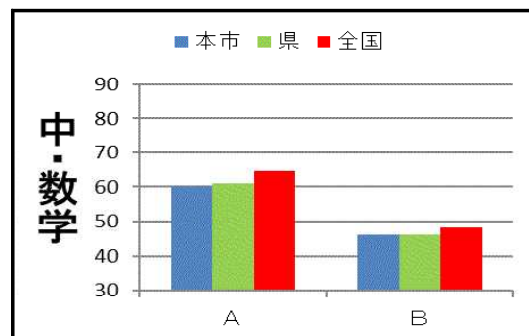
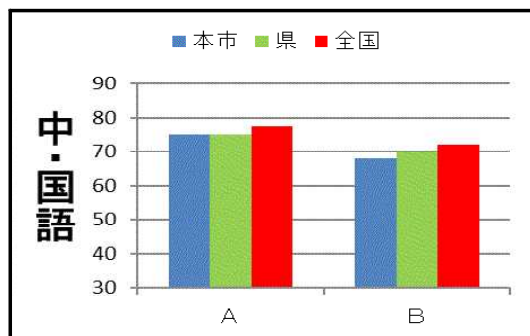
教科		平成29年度			平成28年度		
		本市	県	全国	本市	県	全国
国語	A	76	75	74.8	70.9	71.7	72.9
	B	54	55	57.5	56.2	56.5	57.8
算数	A	79	79	78.6	79.1	78.5	77.6
	B	45	45	45.9	45.0	45.4	47.2



#### (2) 中学校正答率

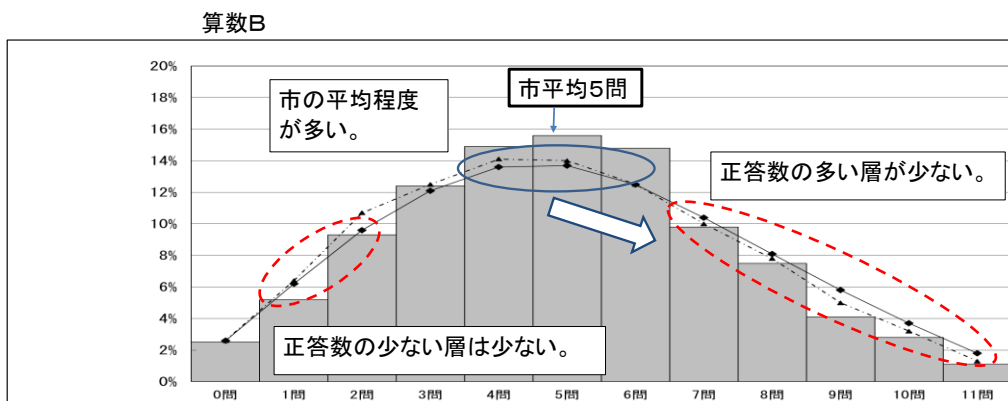
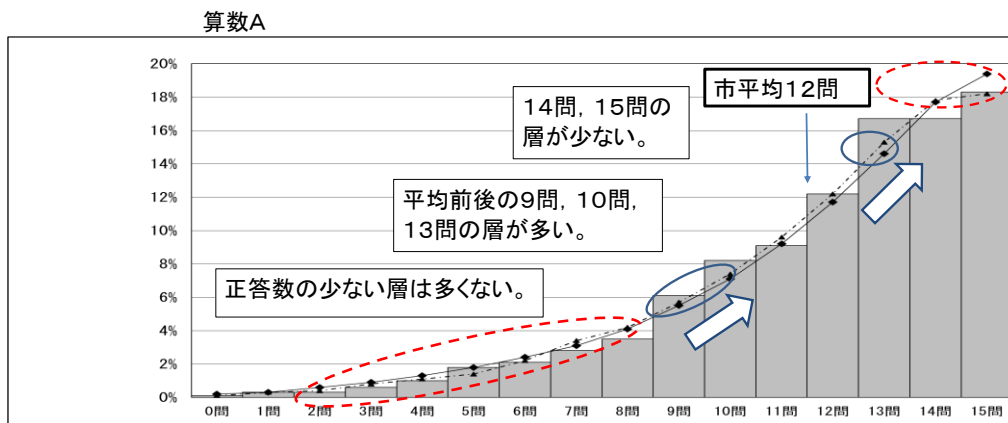
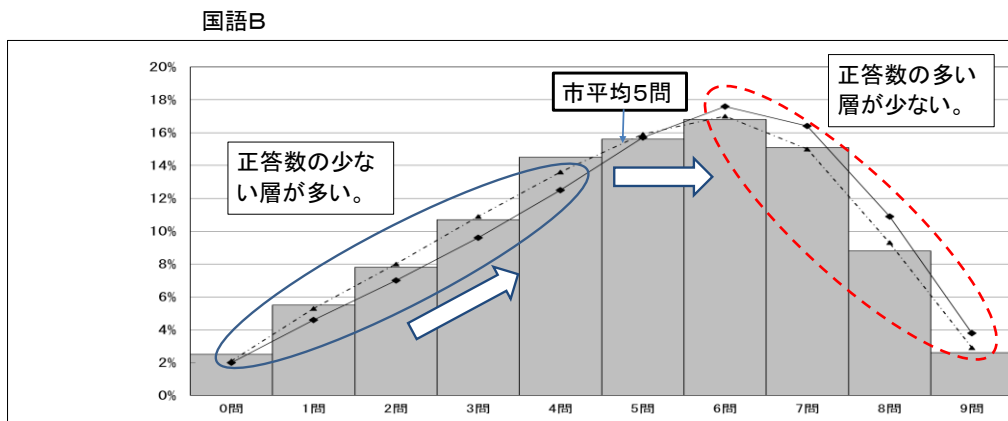
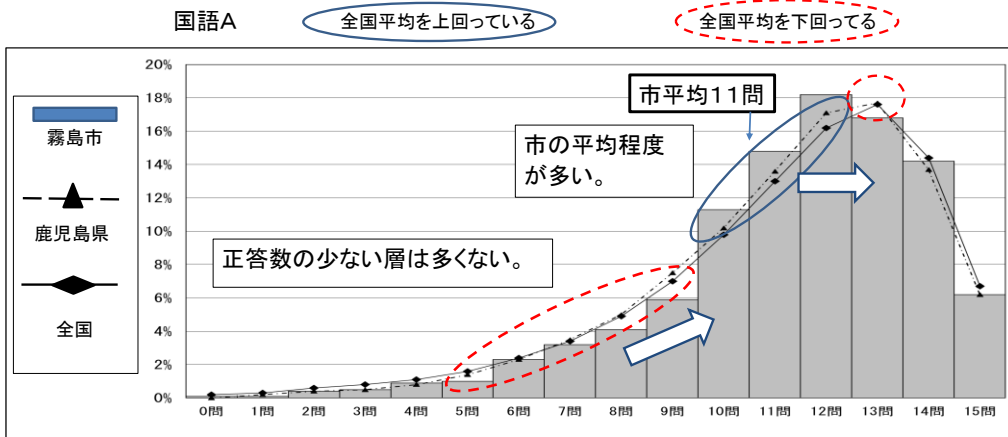
- ・ 国語A・B，数学A・Bともに県と同程度であるが，全国と比較すると，4調査ともに2ポイント以上下回っており，県同様，課題が継続しています。

教科		平成29年度			平成28年度		
		本市	県	全国	本市	県	全国
国語	A	75	75	77.4	73.8	73.9	75.6
	B	68	70	72.2	64.1	64.2	66.5
数学	A	60	61	64.6	60.0	59.7	62.2
	B	46	46	48.1	42.0	41.4	44.1



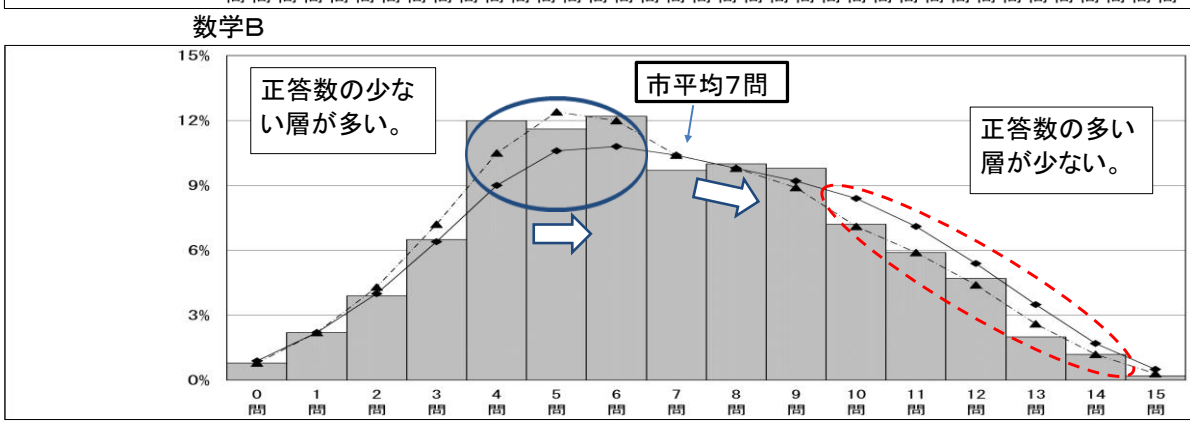
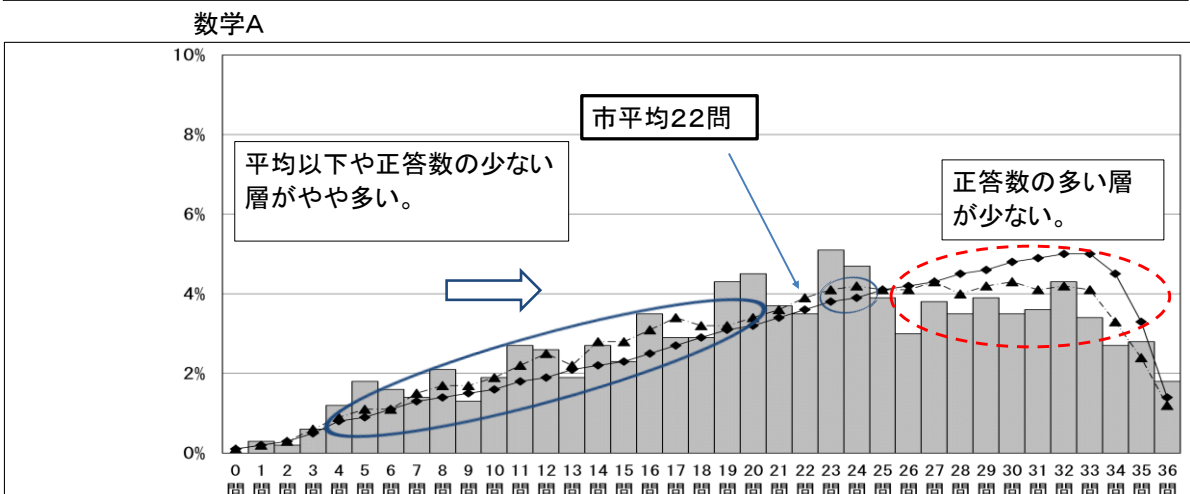
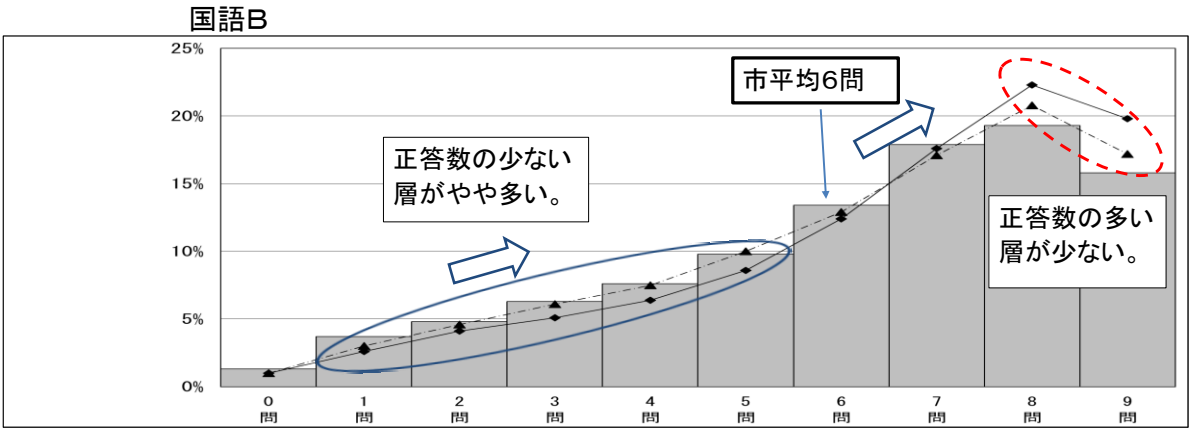
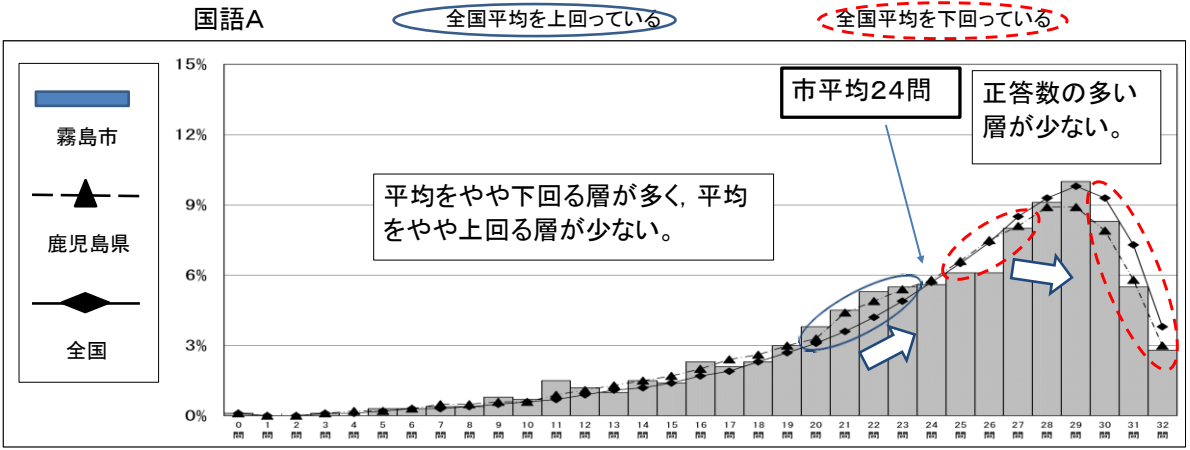
(3) 正答数分布グラフ（どれくらいの正答数の児童・生徒数が多かったのかを表しています。）  
 〈小学校〉

- ・ 正答数が高い層は全国に比べて少ないですが、正答数が少ない層は全国と同程度です。
- ・ 国語Bは正答数が高い層が全国に比べて少ないですが、正答数が少ない層は全国に比べて多い結果になりました。



(4) 正答数分布グラフ（どれくらいの正答数の児童・生徒数が多かったのかを表しています。）  
 〈中学校〉

・ 4調査とも正答数の多い層が少なく、正答数の少ない層が多いので、全体的な底上げが必要です。



#### 4 学習状況調査結果

##### (1) 霧島市全体の傾向

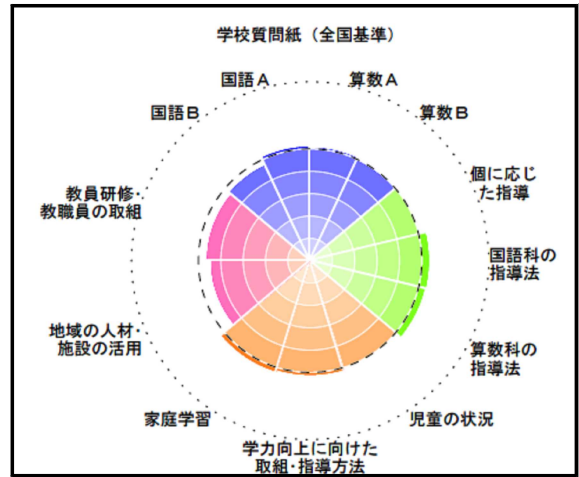
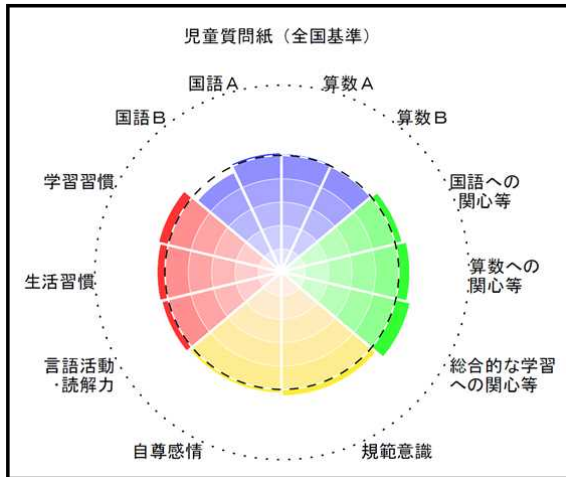
###### ア 児童生徒質問紙から

小・中学校ともに、学習習慣や生活習慣，規範意識において，全国の水準を大きく上回っていて，各教科への関心も高くなっています。**本市の真面目で，素直な子どもたちの姿**が読みとれます。

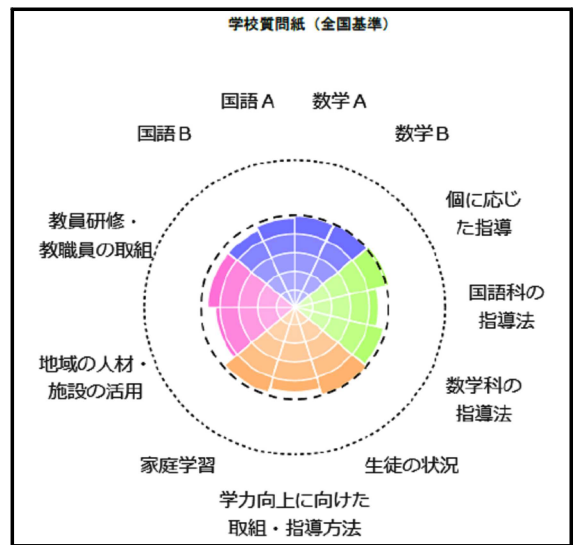
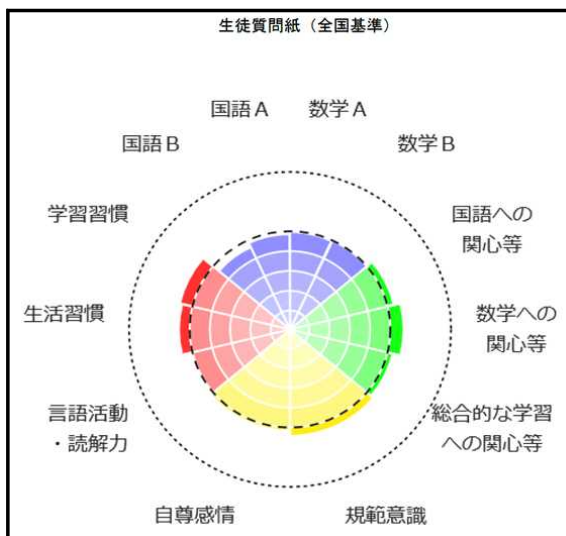
###### イ 学校質問紙から

- ・ 小学校では，国語，算数の指導をはじめとした学力向上に向けた取組や家庭学習に対する指導において，全国の水準をやや上回っています。
- ・ 中学校では，国語の指導法や学力向上に向けた取組，家庭学習において，全国の水準を下回っています。
- ・ 小学校，中学校に共通する課題として，地域の人材活用や教員の研修が全国を下回っています。

小学校



中学校



## 5 調査結果のまとめ（課題）

- (1) 学力調査から、**活用力を中心とした課題**が継続していることが分かりました。
- (2) 学習状況調査から、学校生活、家庭生活での「**本市の児童生徒のよさ**」が見えてきました。
- (3) **家庭学習の質**を改善する必要があります。

## 6 今後の取組

### (1) 学力の底上げと活用力向上に向けた取組

- ・ 「**授業開始のチャイムを守る**」や「**私語をせず、話をしっかり聞く**」など、学習に向かう基本的な態度を育成するために、学校全体、校区全体で共通実践事項に取り組んでいきます。
- ・ 児童生徒が、**アクティブに活動し、深く考え、なるほどと実感する**ような授業づくりに職員全体で取り組みます。
- ・ **研究授業や職員同士での授業参観**を積極的に行うことで、授業力向上に向けての研修を実践的なものにし、指導力向上を図っていきます。

### (2) 宿題の質の改善

- ・ 宿題を思考力・表現力を高めるものにするために、ドリル的な宿題だけでなく、「**授業で学んだことを活用し、考えを深める課題**」や「**児童生徒一人一人に応じた課題**」を提示するなど、工夫していきます。
- ・ 復習を中心とした家庭学習の傾向が見られるので、授業の理解度を高めるためにも、次の授業と関連した内容について、時間をかけて自分の考えをまとめ、「**次の授業での発表につながるような課題**」を与え、予習の充実を図ります。

### (3) 「ほめる運動」の一層の推進

- ・ 「**ほめる運動**」について、全市で取り組んでいますが、今後、自尊感情をもった児童生徒が更に増えていくように各学校で再度、認識を深め、児童生徒とかがかわっていきます。
- ・ 授業での活動の様子に対して、児童生徒自身が**成長を実感できる**ような声かけをしていきます。
- ・ 学校・家庭が互いに連携を深めることができるように、学校便りや学級通信など、**児童生徒のよさを互いに共有**する取組を充実させます。

## 7 家庭へのお願い

### (1) 子どもをほめて、学習への前向きな姿勢を育てましょう。

- ・ 本市の児童生徒は学習習慣や生活習慣など、**たくさんのよさ**をもっています。ぜひ、各家庭で子どものよさをいろいろな角度から発見して、ほめてください。そうすることによって、自尊感情が高くなり、学習に対して前向きな姿勢が高まります。

※ 本市が全国平均を上回る項目（例）

- 家で、学校の授業の復習をしている。
- 今住んでいる地域の行事に参加している。
- 学校に行くのは楽しいと思う。
- テレビゲームをする時間が1日当たり1時間以下である。

## (2) 家庭学習の充実に向けて、家庭でも支援しましょう。

家庭で宿題をしたり、授業の復習に取り組んだりしている児童生徒が多いという本市の子どものよさを学力向上に結びつけるために、「**質の改善**」といった視点から、子どもと一緒に家庭学習をよりよくしていきましょう。

### ～学習を定着させる復習～

- ・ 学校では分かったつもりになっても家に帰って見直してみれば、忘れていたり、分からなくなったりしていたことはよくあります。「学校で解けなかった問題を**もう一度解いてみる**」「学校で覚えたことをもう一度**書いたり、口に出したり**して記憶を強化する」といった意識で復習に取り組ませましょう。

### ～学習の見通しをもつ予習～

- ・ 次の授業で勉強する内容を前もって知り、**疑問点を明らかに**して授業に臨めるように、復習だけでなく、予習もするようアドバイスしましょう。

### ～活用する力を高める学習～

- ・ 漢字や英単語の練習といった学校から出される宿題だけでなく、授業で学習したことをもとに、**応用的な問題**にもチャレンジするようアドバイスしましょう。
- ・ 「学んだことを活用する力」を付けるために、自由研究や日常生活の中で、学習している**内容が活かされる体験**をたくさんさせましょう。

家庭学習が習慣化されるために、子どもといっしょに**学習する環境・雰囲気**をつかっていきましょう。

### ～学習への意欲を高めるかかわり～

- ・ 自分の学生時代や仕事上での経験を基に、**勉強の意義、家庭学習の意義**を子どもに語りましょう。
- ・ 「すごいね」「よくがんばったね」といった**ほめ言葉や励ましの言葉**で、学習の成果や取組の様子を認め、学習への意欲を高めましょう。

### ～生活のリズムを整える手だて～

- ・ 「家に帰ったら、まず宿題をしよう」とか「夜ご飯を食べた後、1時間、問題集に取り組む」など、**学習する時間帯**を決めることで、家庭でのリズムが生まれます。自主性を尊重しながらも、リズムが確立するような手立てをとりましょう。
- ・ 学校でしっかり学習するためには、十分な睡眠時間が必要です。夜更かしして、睡眠時間が不十分だと、学校でダラダラと過ごすことになるかもしれません。「**早寝・早起き・朝ご飯**」の生活習慣をつけるために、家庭でのルールをしっかり守らせましょう。

### ～学習に集中できる環境づくり～

- ・ 机の上や部屋が散らかっていても、勉強する気持ちにはなりにくいものです。常に、**整理・整頓**を心がけるように声かけをしていきましょう。
- ・ 「テレビを見ながら」だったり、「友達とメールをしながら」だったりといった「**ながら勉強**」では効果はあがりません。テレビやスマートフォンを学習環境から遠ざけ、集中して勉強に取り組ませましょう。

### ～家庭での準備の習慣化～

- ・ 朝、あわてて学校の準備をすると、忘れ物をしがちです。「せっかく予習したのにノートを忘れた」などといったことがないように、前日に持ち物をしっかりと**準備する習慣**付けをしましょう。